

## ○ 領域「B鑑賞」の内容はどのように改善されたか。

音楽科の内容は、「A表現」と「B鑑賞」の2領域と新設された〔共通事項〕で示される。

ここでは、今回の音楽科の改善の基本方針に基づき改善が図られた領域「B鑑賞」の具体的内容について示す。

(改善の具体的事項)

鑑賞領域においては、音楽を特徴付けている要素や音楽の仕組みを聴き取る力を育て、それによって音楽の面白さやよさ、美しさを感じ取ることができるようにする。

### 「B鑑賞」

「B鑑賞」の指導項目については、鑑賞の指導内容を整理して示すとともに、鑑賞で取り扱う教材を示している。

#### 1 「(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を指導する」について

曲想を感じ取って聴くこと、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴くこと、楽曲の特徴や演奏のよさを理解することを通して、基礎的な鑑賞の能力を身に付けるようにすることについて示している。低・中・高学年の指導のポイントは次のとおりである。

【低学年】楽曲の気分を感じ取って聴く、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取って聴く、楽曲や演奏の楽しさに気付く。

【中学年】曲想とその変化を感じ取って聴く、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造に気を付けて聴く、楽曲の特徴や演奏のよさに気付く。

【高学年】曲想とその変化などの特徴を感じ取って聴く、音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴く、楽曲の特徴や演奏のよさを理解する。

また、全学年に「鑑賞曲を聴いて想像したり感じ取ったりしたことを言葉で表す活動」を新たに設けた。

#### 2 「(2) 鑑賞教材は次に示すものを取り扱う」について

鑑賞教材を選択する場合の観点について示している。